

# ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo 1

事業・工事名

東南海・南海地震予測のための地下水等観測施設整備工事(愛知県豊田市地区)

シートNo 1

ボーリング名	孔 3	調査位置	愛知県豊田市神殿町中切7-2 下山保険福祉センター敷地内	北 緯	35° 02' 29.23"				
発注機関	独立行政法人 産業技術総合研究所		調査期間	平成 19年 9月 1日 ~ 20年 7月 31日	東 経	137° 21' 27.52"			
調査業者名	株式会社 日さく 事業本部 電話(048-644-3961)	主任技師	伊藤 健二	現場代理人	中山 伸朗	コ 鑑 定 者	鈴木 悠爾	ボーリング責任者	吉田 匡身
孔口標高	479.94m	角	180° 上 90° 下 0°	方 向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0° 90°	使用機種	NL-55
総掘進長	50.00m	度	0°	向		試験機	エンジン モーター 37kw ポンプ D-20 NAS-6		

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	変 質	記 事	コア採取率 最大コア長 R Q D [ % ]	岩 級 区 分	孔内水位 (m) / 測定月日	( ルジオン 標準貫入 ) 試験 N値	掘 進 状 況						
																掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) / 孔 壁 保 護	コ ア チ ュ ー ブ / ビ ー ツ	給 圧 (MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)
1				盛土	褐く茶褐	-	-	-	-	-	シルト混じりの砂からなる。雲母片が混入する。転石が多く含まれる。					2/3	-	-	-	-	無水	-
2																2/4	269	-	-	-	-	-
3																2/14	16	1.0	90	1.0	250	250
4	476.19	3.75					I					100 (100)A				2/15	60	0.5	55			
5	474.94	5.00					II					100 (100)A				2/16	75	1.0	90	1.5		
6	473.94	6.00										38 (100)CH				2/17	84	1.5	130			
7				トータル岩	青灰	A	a	α	1		新鮮で、亀裂や変質などは見られない。無色鉱物と有色鉱物の含有比率は4:1前後である。コアは棒状である。	100 (100)A				2/18	137	1.5	90	130		
8												100 (100)A				2/19	105	2				
9							I				11.2m付近、高角度の亀裂が見られる。亀裂面は暗灰色に変色しており、薄く粘土を挟む。	100 (100)A				2/20	52	2.0	130	1.5		
10												80 (100)A				2/21	260	2.5	240			
11											アプライトとの境界付近には複数の亀裂が見られる。亀裂面は茶褐色に変色しており、亀裂付近には砂が見られる。	58 (100)A				2/22	303	1.5	130	240		
12	465.44	14.50										60 (100)A				2/23	65	1.5	130	240		
13	464.94	15.00		アプライト・ペグマタイト	灰白	B	II	b	α	2	アプライトが主体で、14.8~15.1m付近にペグマタイトが挟まる。	55 (100)A				2/24	32	2.0	240			
14	464.09	15.85		トータル岩	青灰	A	I	a	α	1	一部、暗色化している。	63 (100)A				2/25	60	3.0	130	2.0		
15	463.09	16.85					I					79 (100)B				2/26	32	2.0	130	1.5		
16	462.94	17.80		アプライト・ペグマタイト	灰白	A/B	II	a	α	1	アプライトが主体で、17.1~17.3m付近にペグマタイトが分布する。	92 (100)A				2/27	58	1.5	3.0	1.5		
17	461.94	18.00					I					58 (99)A				2/28	43	1.5	3.0			
18	460.94	19.00		トータル岩	青灰	B	II	a	α	1	開口亀裂および密着亀裂が多く見られる。亀裂には砂が挟まる。亀裂周辺は弱く変質している。	38 (80)A				2/29	104	3.0	240	2.0		
19	460.44	19.50										41 (87)A				2/30	70					
20	457.94	22.00		トータル岩	青灰	B	II	a	α	1	新鮮で、亀裂間隔は30~40cmである。	36 (100)A				2/31	55					
21	457.04	22.90										44 (90)A				2/32	70					
22	456.44	23.50		アプライト	灰白	B	II	b	β	2	亀裂が多く、トータル岩との境界付近は黄褐色に変色している。	22 (34)A				2/33	55					
23	455.94	24.00		トータル岩	青灰	B	II	b	β	2	高角度の亀裂が見られ、密着した亀裂も伴う。コアは暗色化している。					2/34	70					
24	455.34	24.60					A	I	a	α	1					2/35	70					
25	455.09	24.85		アプライト	灰白	A	I	a	α	1	トータル岩との境界はペグマタイト質である。	61 (100)A				2/36	70					
26	453.84	26.10		トータル岩	青灰	A	I	a	α	1		90 (100)A				2/37	55					
27	453.64	26.30		アプライト	灰	A	I	a	α	1	27.0m付近、密着した亀裂が見られ、亀裂付近は白~灰色に変色している。	63 (98)A				2/38	55					清水 / 60
				トータル岩	青	A	I	a	α	1		62 (100)A				2/39	55					

